



『もっと！！本野通信』

No.115

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

ありがとう6年生！！

4日、6年生が鉄棒の支柱のペンキ塗りをしてくれました。これは、総合的な学習の時間で「わたしたちにできること」をテーマに話し合って実現した活動です。ペンキ塗りだけでなく、さび落としもし、用務員の榎木先生、月元先生に助言いただきながら作業を進めました。

色が落ちていた鉄棒が、みちがえるほどきれいに、明るくなりました。6年生の、想いと足跡がしっかり残りましたね。ありがとうございました。



記念植樹

5日、本明川ダム建設現場付近で6年生が植樹を行いました。

この学習は、国土交通省の協力のもと、4年生の頃から行ってきた「環境学習」（総合的な学習の時間）のまとめになります。4年生の頃に、「サザンカ」「ヤブツバキ」などの種を植え、いったん国土交通省の方で預かっていただき、6年生になって世話を始めました。本明川やその近隣の森や林には、珍しい生き物、数が少なくなっている生き物が多く生息していることを学びました。

ダムを造ることで、そのような生物のすみかが奪われないように、計画的に森や林を再生させようという意味があるそうです。6年生が成人を迎える頃にダムは完成する予定です。その頃の本野小の子どもたちが、植樹でできた森や林で、生き物の観察ができる日が楽しみです。



卒業式まで後8日です

卒業式まで、いよいよ一週間余りとなってきました。学校では、全校児童での練習も始まっています。

卒業式は、よく「学びの集大成」と言われることがあります。なぜなのでしょう。卒業式では、教科書を読んだり、問題を解いたりするわけではありません。おそらくですが、入学式から6年間で身に付けた、姿勢・返事・礼節・立居振舞・言葉などが、式の中で表出されるからだと思っています。

子どもの成長は、紆余曲折、山あり谷ありです。しかし、一人一人が確かに成長した姿が卒業式にはあります。「すてきな卒業式」になるよう、（「すてきな」とは、決して形式的な見栄えの良さばかりではなく、在校生も含めた子どもたちの精一杯がわかる）職員全員で指導・支援していきます。



